

シマミサオノキ

か めい
科名 アカネ

べつ めい
別名

がく めい
学名 *Aidia canthioides*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 あま み おおしまい なん りゅうきゅう たいわん ちゅうごくたいりく
奄美大島以南の琉球、台湾、中国大陸
なんぶ
南部

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいせんけい
鋭尖形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい
葉 の 付方 対生

は きぶ ぐさびがた
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい えきか
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せつ
説 りんない は たか じょうりよくていぼく は うす かくしつ ちょうだえんけい さき するど
林内に生える高さ1.5-4mの常緑低木。葉は薄い革質、長楕円形で先は鋭くとがり、
めい
明 基部はしだいに狭くなって葉柄に流れています。イノシシ笹のハネ木として利用されます。